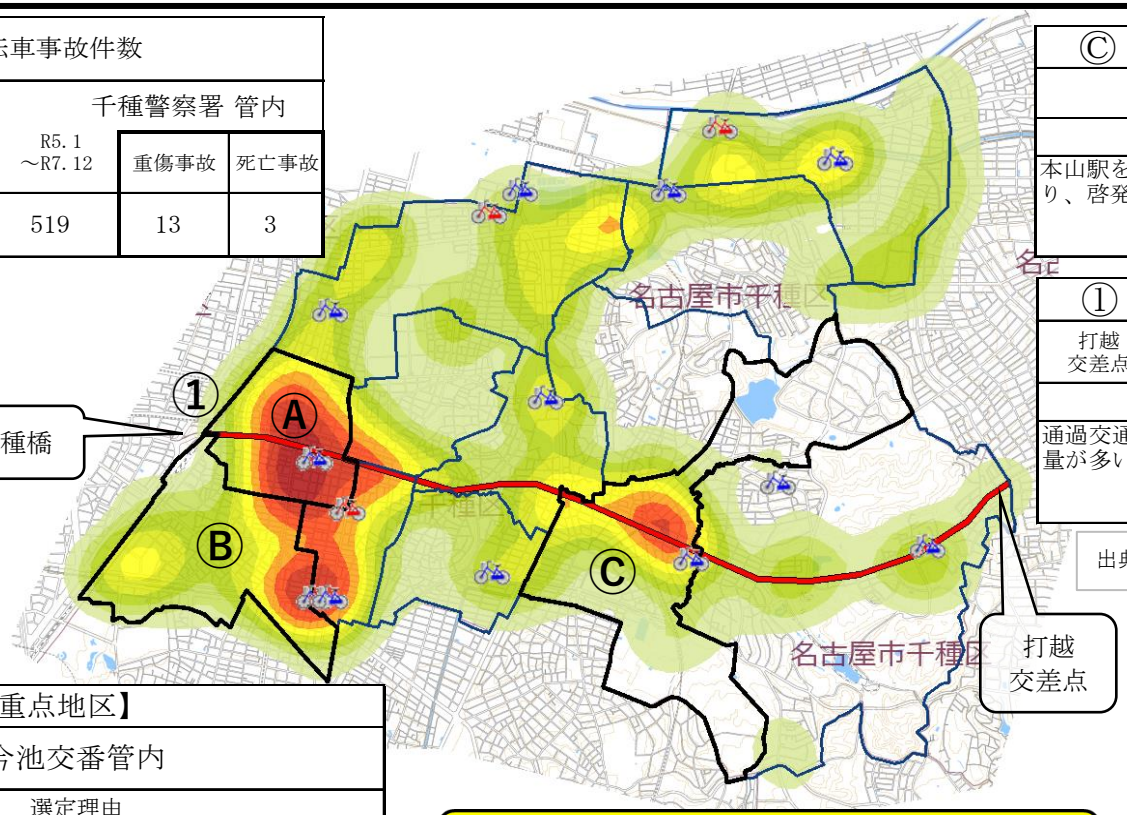
様式第３

令和８年度 自転車指導啓発重点地区及び路線

千種警察署

自転車事故件数			
区分	千種警察署 管内		
	R5.1 ～R7.12	重傷事故	死亡事故
自転車関連事故	519	13	3



Ⓒ 【重点地区】
本山交番管内
選定理由
本山駅を中心に自転車利用者が多く事故が多発しており、啓発活動等を推進する必要があるため。

① 名古屋長久手線			
打越交差点	～	千種橋	5,900 m
選定理由			
通過交通も含め、名古屋市中心部へ自転車通勤者の交通量が多いほか、自転車事故多発路線であるため。			

出典：国土地理院基盤地図情報（基本情報）

Ⓐ 【重点地区】
今池交番管内
選定理由
管内有数の繁華街で自転車事故が多発しており、指導取締りや広報活動を重点的に推進する必要があるため。

Ⓑ 【重点地区】
大久手交番管内
選定理由
名古屋環状線と若宮大通りが交差する、中道交差点付近を中心に自転車事故が多発しており、付近には大型施設や公園が所在している地区であるため。

★ 自転車を運転する人は次の点に気を付けましょう！★

1　歩道は、歩行者優先！

自転車が通行できる歩道でも、車道寄りをすぐに止まれるスピードで走行し、歩行者が立ち止まったり、避けなければならない時は一時停止をしましょう。

2　ながら運転は危険！

片手運転になったり、周りの危険を発見することができず、重大な交通事故につながる危険な行為です。絶対にやめましょう！

3　「止まれ」では確実に一時停止を！

一時停止場所や見通しの悪い交差点では必ず一時停止しましょう。

凡　例

低　高　自転車事故密度分布

自転車指導啓発重点地区

自転車指導啓発重点路線

重傷事故発生場所

死亡事故発生場所

愛知県警察